

# 本番 ESA トラフィックを受け入れるためにベータ ESA を設定して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ベータ アプライアンスを設定して下さい](#)

[ベータ ESA のためのリスナー設定](#)

[ベータ ESA のための送信側グループ](#)

[ベータ ESA のための Simple Mail Transfer Protocol \( SMTP \) ルーティング](#)

[本番アプライアンスを設定して下さい](#)

[本番 ESA のための SMTP ルーティング](#)

[本番 ESA のためのメッセージ フィルター構築](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[追加情報](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料にメッセージ フィルターで本番 ESA トラフィックを受け入れるためにベータ Cisco E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) を設定する方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## ベータ アプライアンスを設定して下さい

## ベータ ESA のためのリスナー設定

最初のリスナー設定はベータ ESA で完了するべきです。

1. GUI から、**ネットワーク > リスナー**へのナビゲート。
2. 『Add』 をクリックして下さい**リスナーを...**
3. 名前および TCPポート 25 で動作する公共リスナー設定される。
4. 公共リスナーへの変更を保存するために『SUBMIT』 をクリックして下さい。
5. 同じステップを繰り返し、第 2 リスナーを追加して下さい。
6. 名前および TCPポート 26 で動作する私用リスナー設定される。(このリスナーは送信メールのために使用されます。) 環境のために利用可能な、設定される追加インターフェイスがある場合ポート 25 を使用することができます。
7. リスナーへの変更を保存するために**入れて下さい**。
8. 設定へのすべての変更を保存するために**託して下さい**。

## ベータ ESA のための送信側グループ

中継で送られたトラフィックが送信メッセージに関しては、受け入れるためにベータ ESA のための適切な IP アドレスおよび本番 ESA からの中継通信文で追加して下さい。

1. GUI から、**ポリシー > 帽子概要を郵送するためにナビゲート**して下さい。
2. 適切に指名されたり**リレー送信側グループ**を選択して下さい。(これは通常リレー、か RELAYLIST と指名されます。)
3. 『Add』 をクリックして下さい**送信側を...**
4. 送信側に関しては、本番 ESA の IP アドレスを使用して下さい。
5. 必要に応じて管理上のコメントを、入力して下さい。
6. リレー送信側グループへの変更を保存するために**入れて下さい**。
7. 設定へのすべての変更を保存するために**託して下さい**。

## ベータ ESA のための Simple Mail Transfer Protocol ( SMTP ) ルーティング

ベータ ESA で行う必要がある SMTP ルート変更を次の通りです:

1. GUI から、**ネットワーク > SMTP ルーティング**へのナビゲート。
2. 現在の SMTP ルーティングがある場合、**続行する前にそれらおよび削除**を選択する必要があります(ベータ ラボのセットアップ ガイドを検討するために確認して下さい。)
3. 『Add』 をクリックして下さい**ルートを...**
4. **cisco.com** として受信ドメインおよび **USEDNS** として宛先を設定して下さい。
5. [Submit] をクリックします。
6. 同じステップを繰り返し、SMTP ルートを**すぐに追加**して下さい。
7. **ironport.com** のためのドメインおよび宛先の **USEDNS** として受信を設定して下さい。
8. [Submit] をクリックします。
9. 最終的には、ドメインの受信からの**他のドメイン**を『All』を選択して下さい。
10. **/dev/null** として宛先を設定して下さい。(これは設定されないあらゆるドメインのためのベータ アプライアンスからメールをルーティングすることを防ぎます。)
11. [Submit] をクリックします。
12. 設定へのすべての変更を保存するために**託して下さい**。

現時点で、ベータ アプライアンスの SMTP ルーティングはイメージに示すようにあります:

SMTP Routes List		Items per page 20
<a href="#">Add Route...</a>		<a href="#">Clear All Routes</a> <a href="#">Import Routes...</a>
Receiving Domain	Destination Hosts	All <input type="checkbox"/> Delete
.ironport.com	usedns	<input type="checkbox"/>
cisco.com	usedns	<input type="checkbox"/>
All Other Domains	/dev/null	<input type="checkbox"/>
<a href="#">Export Routes...</a>		<a href="#">Delete</a>

注: メールを必要に応じてドメインのためにエンドユーザをテストするために渡すように適切なルートを追加して下さい。

## 本番アプライアンスを設定して下さい

注意: 本番 ESA への変更を行なうことを約あります。現在のコンフィギュレーションをバックアップするようにして下さい。

1. GUI から、システム 管理 > コンフィギュレーション ファイルにナビゲートして下さい。
2. 現在のコンフィギュレーション セクションから、ファイルとして現在のコンフィギュレーションをバックアップするためにオプションの 1 つを選択して下さい: 表示するか、または保存するためにローカル コンピュータにファイルをダウンロードして下さい。ファイルを電子メールで送って下さい: < your\_email\_address@domain.com >
3. [Submit] をクリックします。

## 本番 ESA のための SMTP ルーティング

SMTP ルーティングは本番 ESA からのベータ ESA にすべての受信および送信メールのための BCC を許可するために追加する必要があります。この例に関しては、inbound.beta.com および outbound.beta.com は使用されます。

1. GUI から、ネットワーク > SMTP ルーティングへのナビゲート。
2. 『Add』 をクリックして下さいルートを...
3. ドメインを 25 にポートが設定されていると、先に作成されるベータ アプライアンス公共リスナーの IP アドレスとして宛先との inbound.beta.com として受け取ることを設定して下さい。
4. この新しい SMTP ルートへの変更を保存するために 『SUBMIT』 をクリックして下さい。
5. 同じステップを繰り返して下さい、追加して下さいルートを...
6. 26 に、およびポートを先に作成されるベータ アプライアンス私用リスナーの IP アドレスとして outbound.beta.com として受信ドメイン、宛先ホスト設定して下さい。
7. この新しい SMTP ルートへの変更を保存するために入れて下さい。
8. 設定へのすべての変更を保存するために託して下さい。

現時点で、イメージに示すように本番 ESA の SMTP ルーティング:

SMTP Routes List		Items per page 20
Add Route...		Clear All Routes Import Routes...
Receiving Domain	Destination Hosts	All <input type="checkbox"/> Delete
cisco.com		<input type="checkbox"/>
esatest.onmicrosoft.com	smtp.office365.com:587	<input type="checkbox"/>
inbound.beta.com	172.18.250.222	<input type="checkbox"/>
ironport.com		<input type="checkbox"/>
outbound.beta.com	172.18.250.222:26	<input type="checkbox"/>
All Other Domains	/dev/null	<input type="checkbox"/>
Export Routes...		Delete

## 本番 ESA のためのメッセージ フィルター構築

本番 ESA の CLI から、ベータ ESA の適切なリスナーに BCC メールできるメッセージ フィルターを組み立てて下さい。

1. フィルターへのナビゲート > 新しい。
2. このメッセージ フィルター例をコピー アンド ペーストし、変更をどこにでも適切行なって下さい:

```
bcc-EFT: if sendergroup == "RELAY" {
bcc ("$enveloperecipients", "$Subject", "$EnvelopeFrom", "outbound.beta.com");
log-entry("<====BCC COPY TO BETA ESA====>");
} else {
bcc ("$enveloperecipients", "$Subject", "$EnvelopeFrom", "inbound.beta.com");
log-entry("<====BCC COPY TO BETA ESA====>");
}
.
```

3. 主要な CLI プロンプトに戻ってあるまで戻して下さい。
4. 設定へのすべての変更を保存するために託して下さい。

注: sendergroup に、recv リスナー、mail-from、または他の利用可能なルールおよび構文基  
づいてメッセージ フィルターでコピーされるトラフィックを制限して下さい。サマリメッ  
セージ全体 フィルタ規則およびフィルタ規則のための ESA ユーザガイドを参照して下さい

。

## 確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

現時点で、ベータ アプライアンスは本番アプライアンスからのメールトラフィックを受け入れま  
す。ベータ アプライアンスの CLI から確認するために、末尾 mail\_logs を実行して下さい:

```
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: New SMTP ICID 2 interface Management (172.18.250.222) address
172.18.250.224 reverse dns host dhcp-172-18-250-224.cisco.com verified yes
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: ICID 2 RELAY SG RELAY match 172.18.250.1/24 SBRS not enabled
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: Start MID 2 ICID 2
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 ICID 2 From: <test@test.com>
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 ICID 2 RID 0 To: <robsherw@ironport.com>
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 Message-ID '<a033ed$2@9.9.5-038.local>'
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 Subject 'TEST 2'
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 ready 320 bytes from <test@test.com>
Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 matched all recipients for per-recipient policy DEFAULT in
```

the outbound table

Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: MID 2 queued for delivery

Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: New SMTP DCID 3 interface 172.18.250.222 address 173.37.93.161 port 25

Wed Mar 23 17:28:43 2016 Info: Delivery start DCID 3 MID 2 to RID [0]

Wed Mar 23 17:28:44 2016 Info: Message done DCID 3 MID 2 to RID [0]

Wed Mar 23 17:28:44 2016 Info: MID 2 RID [0] Response '2.0.0 u2NHSipG018673 Message accepted for delivery'

Wed Mar 23 17:28:44 2016 Info: Message finished MID 2 done

Wed Mar 23 17:28:48 2016 Info: ICID 2 close

Wed Mar 23 17:28:49 2016 Info: DCID 3 close

SMTP 通信は 172.18.250.222 ( ベータ アプライアンス ) で確立します。トラフィックが送信されるアドレスはからです 172.18.250.224 ( 本番アプライアンス ) あります。

通信を受け取る送信側グループはリレー、172.18.250.1/24 ネットワークからの中継で送られたトラフィックです。

他は TEST 2 メッセージの通信です。

本番アプライアンスで、末尾 mail\_logs を確認し、実行して下さい。本番で処理された MID は示します:

Wed Mar 23 14:50:10 2016 Info: MID 242 was generated based on MID 241 by bcc filter 'bcc-EFT'

これは BCC'd 受信のために意図されているようにベータ アプライアンスおよびテスト エンドユーザに受け取られるように電子メール メッセージの明解な分裂であり。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 追加情報

コンテンツ フィルタは本番の対テスト エンドユーザ用のベータ メール トラフィック区別を助けるために考慮されるかもしれません。

1. **ポリシー > 着信コンテンツ フィルター**か**メール ポリシー**を郵送するベータ ESA、ナビゲートの GUI から > **発信コンテンツ フィルター**。
2. add の操作を行うために基本的なコンテンツ フィルタを組み立てて下さい/ヘッダを編集して下さい。
3. 組み立てられるコンテンツ フィルタへの変更を保存するために『SUBMIT』をクリックして下さい。
4. **ポリシー > 着信メール ポリシー**または**メール ポリシー**を > **発信メール ポリシー**郵送し、ポリシー名に新しいコンテンツ フィルタを有効にし、追加して下さい。
5. そのポリシーにコンテンツ フィルタを保存するために『SUBMIT』をクリックして下さい。
6. 設定へのすべての変更を保存するために**託します**をクリックして下さい。

現時点で、ベータ ESA のコンテンツ フィルタはイメージに示すようにあります:

Content Filter Settings	
Name:	Bellagio_Subject_Tagging
Currently Used by Policies:	Default Policy
Description:	Prepend BETA PROCESSED tag to subject line for all emails processed through this ESA

Conditions
<a href="#">Add Condition...</a>
<i>There are no conditions, so actions will always apply.</i>

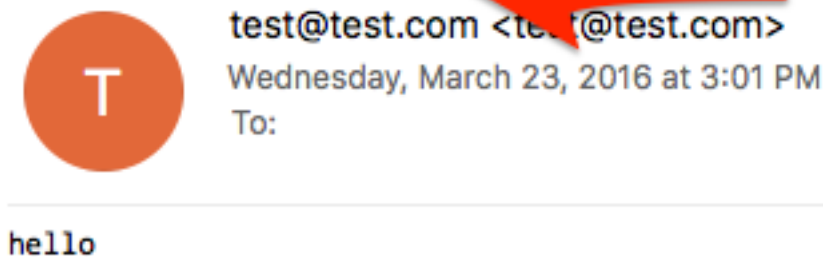
Actions			
<a href="#">Add Action...</a>			
Order	Action	Rule	Delete
1	Add/Edit Header	edit-header-text("Subject", "(.*)", "[BETA PROCESSED]\\1")	

[Cancel](#)

[Submit](#)

電子メールメッセージがベータ ESA で受け取られるときこの場合、一度イメージに示すように処理されるメールの件名でこれを次のように表示できます:

[BETA PROCESSED]TEST 3



## 関連情報

- [ステージング更新のための ESA/SMA の設定方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)